

令和6年4月1日

コンサルタント家庭教育研究所
大学受験科のしおり

コンサルタント家庭教育研究所

はじめに

当塾の大学受験科は平成25年、米子東高校専攻科の廃止に伴い設置されました。現在までに東大、京大、国公立医学部などの難関大をはじめ、多くの受験生が在籍し、進路実現を果たしてきました。新たに大学受験科で学ばれるみなさんは、先輩方の積み上げてきた伝統を汚さぬよう精一杯勉学に励まれ、栄光をつかみとられることを祈念します。

大学受験科の特色

①進学実績を積み上げています

開講以来10年間、大学受験科は進学実績を確実に積み上げてきました。下記に示す大学以外にも多くの大学への合格を勝ち取っています。大手予備校のような規模はありませんが、生徒一人一人に合わせたマンツーマン指導で合格に徹底的にこだわり実績を出しています。やる気さえあれば合格は目の前です。

合格実績(R5まで)

<国立大学> 東京大学(理科一類) 京都大学(理学部) 大阪市立大学 筑波大学 神戸大学(工学部) 東京都立大学・宇宙航空 東京学芸大学(教育学部) 岡山大学(医学部医学科) 岡山大学(人文学部) 岡山大学(工学部 2名) 岡山大学・医学部・放射線学科 鳥取大(医学部・地域枠・推薦 2名) 徳島大(医学部・推薦) 鳥取大(医学部・保健学科・推薦) 島根大学(教育学部) 愛媛大学(法文学部) 島根県立大学(総合政策学部) 山口大学(教育学部) 広島市立大学 高知大学(地域協同学部) 鳥取大学(地域・国際学部) 鳥取大学(機械物理学部) 鳥取環境大学(環境B) 三条市立大学(工学部) 高知工科大学(環境理工学部) 県立広島大学(地域資源学部) 県立広島大学(保健福祉学部) 千葉大学(法政経学部) 熊本大学(薬学部)

<私立大学> 明治大学・理工 早稲田大(スポーツ) 同志社大(スポーツ) 創価大(看護学部) 関東学院大 関西学院大(栄養学部) 岡山理大(理学部) 大阪工大(工学部) 日本社会事業大 美作大学(生活科学) 松山大学 川崎医療福祉大学 関西大学 桃山学院大学(法学部) 藤田医科大学(医学部医学科) 藤田医科大学(医療検査) 就実大学(日本文学) 東海大学(農学部) 上智大学(ロシア語) 法政大学(文学部) 南山大学(外国語) 武庫川女子大学(社会福祉)

②新課程に対応した学習環境の提供

令和6年度共通テストより新学習指導要領に基づいた出題が行われます。(主な変更点は別紙)教科により試験時間が延び、また新たに「情報Ⅰ」が新設されます。この共通テストの形式に対応した学習環境を提供します。「情報Ⅰ」に関しても一から学ぶことができ、高校時に習ってなくても試験に対応できるようになっています。

さらに、国公立前後期二次試験、私大の個別試験、推薦・総合型選抜の小論文・面接など、大学受験に必要なあらゆる対策を実施していますので、安心して受験準備を行うことができます。

③自分のペースで無理なく勉強できる

生徒により、成績を伸ばすために必要な方法も違います。少人数指導のメリットを生かして一人一人の生徒に向き合い、理解しているかどうかを丁寧に確認しながら授業を行っていきます。また業者模試に加え、一か月に1～2回の月例模試を入試本番の日程に合わせて行っています。模試の成績はフィードバックされ、普段の授業に活かされます。

基礎力に自信がない生徒さんでも安心してください。少人数指導ですので、他の生徒さんの進度を気にすることなく、マンツーマンで基礎授業を受けながら基礎固めをしていけます。もちろん勉強は大変ですが、問題が解けるようになり、成績が上がっていく実感を感じていただきたいと思います。

④一人ブース、腰を据えて学習に励むことができます

コンサルタント大学受験科では一人一つの学習スペースが与えられます。共有スペースではなく、個別の学習環境があることで腰を据えて学ぶことができます。休憩室・資料室なども準備されており、必要に応じて利用することができます。朝9時から夜10時まで学習室を利用できます。勉強漬けの毎日を送ることができます。



大学受験科個別ブース

⑤夏期講習・冬期講習無料 テキスト・模試などの追加料金も一切かかりません

コンサルタント大学受験料の学費は明朗会計。パンフレットに記載した学費以外は一切必要ありません。一見安く見えても、テキスト代、施設利用料、模試代金、講習代金など様々な追加徴収で学費が高額になる予備校もたくさんありますので、見た目の料金に惑わされずに予備校選びをしてください。明朗会計のコンサルタント大学受験料は学費も一般の予備校に比べて安く、追加料金は一切ありません。安心して選んでください。

令和6年度からの新課程共通テストの概要

1 出題教科・科目・時間数

教科	出題科目など	試験時間	配点
地理・歴史 公民	「地理総合、地理探究」 「歴史総合、日本史探究」 「歴史総合、世界史探究」 「地理総合、歴史総合、公共」 「公共、倫理」 「公共、政治・経済」 *上記6科目から最大2科目選択。	1科目 60分 2科目 130分 (実時間 120分)	1科目 100点
国語	現代文3題 古文・漢文各1題ずつ	90分	200点 (現代文 110点 古文・漢文各 45点)
外国語	英語リーディング 英語リスニング	80分 60分	200点
理科	「物理・化学・生物・地学基礎」 「物理」 「化学」 「生物」 「地学」	1科目 60分 2科目 130分 (実時間 120分)	1科目 100点
数学	「数学Ⅰ、数学ⅠA」 「数学Ⅱ、数学B、数学C」	70分 70分	1科目 100点
情報	「情報Ⅰ」	60分	100点

○社会の変更

現行課程 地歴（地理 AB、日本史 AB、世界史 AB）
公民（現代社会、倫理、政治経済、倫理政治経済）

↓

新課程 地歴（地理総合、地理探究、歴史総合、日本史探究、世界史探究）
公民（公共、倫理、政治経済）

*地理 A が無くなり、地理総合（ほぼ地理 A と同じ）が追加。

*日本史 A、世界史 A が無くなり、歴史総合（日本史 A・世界史 B をまとめた）が追加。

*現代社会が無くなり、公共（ほぼ現代社会と同じ）が追加。

*地理総合、歴史総合、公共は必修科目。

○結局どう変わる？

- * 地理、日本史、世界史をすべて必修で学ぶことになる。
- * 今までは現代社会だけで受験できる大学もあったが、今回からは倫理と政治経済の要素を必ずセットで学ぶため公民の負担増。
- * 「地理総合、歴史総合、公共」では大学によっては受験できない可能性があるため、避けた方が無難。
- * ○○総合系の問題は少なく、○○探究系の問題がほとんどを占めているため、基本的には○○探究科目を頑張ればよい。

社会組み合わせ不可のパターン（河合塾提供）

2科目選択時の組合せパターン（○が付く組合せのみ可）

	地理総合、 地理探究	歴史総合、 日本史探究	歴史総合、 世界史探究	地理総合、歴史総合、公共			公共、倫理	公共、政治・経済	
				地理総合、 歴史総合	地理総合、 公共	歴史総合、 公共			
地理総合、地理探究		○	○	×	×	○	○	○	
歴史総合、日本史探究	○		○	×	○	×	○	○	
歴史総合、世界史探究	○	○		×	○	×	○	○	
地理総合、 歴史総合、 公共	地理総合、 歴史総合	×	×	×				○	○
	地理総合、 公共	×	○	○				×	×
	歴史総合、 公共	○	×	×				×	×
公共、倫理	○	○	○	○	×	×		×	
公共、政治・経済	○	○	○	○	×	×	×		

○国語はどう変わる？

- * 試験時間が^{現行}80分→^新90分と10分増加。
- * 現代文が三問、古文、漢文が各一問ずつと問題数が増えた。
- * 難易度は従来と変わらないが、多種多様な文章を読みこなす必要がでてくる。

○数学の変更

現行課程

数学B「ベクトル」
 数学Ⅲ「平面上の曲線と複素数平面」
 数学B「期待値」

新課程

数学Cへ移動
 数学Cへ移動
 数学Aに移動

○数学はどう変わる？

* 数学ⅠAは従来は「確率」「図形」「整数」の大問の中から、二題選択する形式だったが、今後は文系であっても「確率」「図形」「整数」の解答が必須になる。

* 数学Ⅱ、数学B、数学Cのうち、数学Ⅱと数学Bの「数列、統計的な推測」から二項目、数学Cの「ベクトル、平面上の曲線と複素数平面」から二項目、計四項目から三項目を選択受験することになる。

* 「整数の性質」は共通テストでは扱わない可能性。(難関大の二次試験では出題。)

* 文系の生徒は数ⅡBCで「数列」「統計的な推測」「ベクトル」選択がほぼ確定。

* 理系の生徒にはさほど影響はないが、文系の生徒は数ⅠAで「確率」「図形」「整数」の解答必須、数ⅡBCで「数列」「統計的な推測」「ベクトル」「複素数平面」の中から三項目選択で、確実に負担増。

○英語の変更

特に大きな変更なし。学ぶ単語数は従来に比べ700~1,000語程度増加。

○理科の変更

特に大きな変更なし。

2 大学入試に必要な科目

* 国公立大学を受ける人は下のように全教科の学習が必要です。二次試験は文系なら英語・国語・数 or 地歴公民、理系なら英語・数学・理科が一般的です。

共通テストに必要な教科・科目の目安

文系学部 外 数ⅠA 数ⅡBC 国 情報 理基 地公 地公

理系学部 外 数ⅠA 数ⅡBC 国 情報 理 理 地公

* 私大を受験する人は、「一般方式」「共通テスト利用入試」が利用できる場合がほとんどですが、ほぼ下記教科の組み合わせがほとんどです。「共通テスト利用入試」では「情報」を学んでいなくても受験できる可能性大です。

文系学部 外 国 数 or 地公

理系学部 外 数 理

3 高校既卒生への対応

(河合塾提供)

教科	経過措置科目	試験時間	配点
地理歴史	「旧世界史A」「旧世界史B」 「旧日本史A」「旧日本史B」 「旧地理A」「旧地理B」	1科目選択60分 2科目選択130分 (うち解答時間120分)	100点
公民	「旧現代社会」「旧倫理」「旧政治・経済」 「旧倫理, 旧政治・経済」		
数学	① 「旧数学Ⅰ」「旧数学Ⅰ・旧数学A」	70分	100点
	② 「旧数学Ⅱ・旧数学B」「旧数学Ⅱ」 「旧簿記・会計」「旧情報関係基礎」	70分	100点
情報	「旧情報」 旧課程「社会と情報」「情報の科学」の共通部分に対応した必答問題と、 「社会と情報」「情報の科学」それぞれに対応した選択問題を出題	60分	100点

*2023年度の高3年生以上の生徒は、上記の旧課程の出題科目が経過措置として選択できる。また、新課程科目を選択しても構わない。混ぜて受験することも可能。

*情報は旧課程の科目（「社会と情報」「情報の科学」）を選択できるが、新課程の出題科目も合わせて出題されることになるので、結局新課程「情報Ⅰ」を最初から学習したほうが早いと考えられる。

受験科生の日

時程	科目	備考
8:30~	始業	
9:00~10:20	国語 (含:記述式問題対策)	担当:島田
10:30~11:50	英語 (含:リス・民間試験対応)	担当:新田
12:00~12:50	昼休み	
13:00~14:00	社会/情報	担当:新田
14:30~15:30	文系理科 理系理科	担当:渡部
15:40~17:00	文系数学 理系数学 (含:記述式問題対応)	担当:渡部

*情報は週2回授業形式で学習する。

*社会は授業は行わないが、それぞれの受験科目について1課題/週が課され、毎週木曜は課題テストを実施する。

授業・月例模試について

○授業について

- ①基本的に担当者の指示で問題演習後、講師から個別にアドバイス、指導を受けます。
- ②希望に応じて個別に基礎授業を行い、知識習得、基礎固めを行います。
- ③「月例模試」を月に1~2回、実際の試験日程で行います。月例模試・業者模試を合わせると年間30回以上の入試想定訓練を行うこととなります。
- ④課題・模試で弱点、理解不足を洗い出し、本人の復習と講師のアドバイスを受けることで短期間で必要十分な知識の習得を図ります。

○月例模試実施時程

<p><一日目></p> <p>09:30~10:30 地歴(60)</p> <p>10:40~11:40 公民(60)</p> <p>昼食休憩</p> <p>12:50~14:20 国語(90)</p> <p>14:30~15:50 英語筆記(80)</p> <p>16:00~17:00 英語リスニング(60)</p>	<p><二日目></p> <p>09:30~10:30 理科1(60)</p> <p>10:40~11:40 理科2(60)</p> <p>昼食休憩</p> <p>13:00~14:10 数ⅠA(70)</p> <p>14:20~15:30 数ⅡA(70)</p> <p>15:40~16:40 情報(60)</p>
---	--

夏期講習・冬期講習について

○実施目的

○ 夏休み・冬休み中も緊張感を持って学習に励む。(設定した得点目標を達成する)
○ 模試をペースメーカーにして規則正しい学習リズムを維持する。
1 月・火で模試を行い、水・木・金でじっくり復習する。
2 水・木・金は16:00～17:30で解説を実施する。(担当：新田)
3 秋ごろより二次試験対策として、月・火の月例模試に合わせて二次対策模試を行う。

○実施例

月	火	水	木	金	土
7/23	7/24	7/25	7/26	7/27	7/28
模試 (1回目)	模試 (1回目)	復習/解説	復習/解説	復習/解説	次回模試の準備
7/30	7/31	8/1	8/2	8/3	8/4
模試 (2回目)	模試 (2回目)	二次対応 模試	復習/解説	復習/解説	次回模試の準備
8/6	8/7	8/8	8/9	8/10	8/11・12
模試 (3回目)	模試 (3回目)	復習/解説	復習/解説	休み	全統マーク
8/13	8/14	8/15	8/16	8/17	8/18
休み	休み	休み	休み	復習/解説	次回模試の準備
8/20	8/21	8/22	8/23	8/24	8/25
模試 (4回目)	模試 (4回目)	二次対応模 試	復習/解説	復習/解説	自学
8/27					
通常授業 開始					

月例模試・夏期・冬期講習などは追加料金なく受講いただけます。

授業費用

計 604,000 円（一括の場合）

- *教材費・講習費・模試代金などをすべて含む（追加費用なし）。
- *費用は基本的に一括払いとする（原則4月末までの納入）。
- *前後期二回の分納も可能（それぞれ302,000円を4月末、10月末までに納入）。
- *納入方法は銀行振り込みか、直接塾まで現金で納入する。

年度当初の計画・準備物

授業開始日：4月16日（火）

事前準備：控え室には一人一つの学習スペースが与えられます。必要な参考書や文房具などを持ち出せるように準備しておいてください。

やる気のある方は早めに学習に来ていただいても構いません。不明な点は下記まで電話、メールなどでお問い合わせください。

大学受験生生活の心得

1 生活全般について

○自分の学習スペースの整理整頓に努めること。模試なども繰り返し学習できる貴重な財産ですので、ファイルなどに綴じて、折に触れて活用すること。

○貴重品・手荷物ロッカーのカギを自分で管理すること。カギ紛失の場合は申し出てください。（スペアキーがあります）ただし、その際は代わりのスペアキー作成に1,080円ほど必要になりますのでなくさないように注意しましょう。

○休憩室は自由に使っていただいてもかまいませんので、第8教室での携帯の使用、休憩などは、なるべく避けてください。なお、昼休みに第8教室で昼食をとられるのは構いません。ペットボトルなども持ち込んでいいですが、きちんと廃棄したり、こぼしたりしたら掃除するなど綺麗な環境づくりに努めましょう。

○お互いのプライバシーを尊重しましょう。ここでは学習作業に没頭できるように個別ブースが設置してあります。第8教室ではお互いに邪魔しないように、音の管理、人付き合いのマナーを徹底してください。全員が目標を達成できるように各人協力しましょう。公私の区別をつけて充実した一年を過ごしてください。

2 学習全般について

○欠席の際には連絡をお願いします。帰宅時間は自由ですが、最後に出る人は、消灯し、事務室に一言声をかけて、エアコンのスイッチを切ってください。事務室が無人でもエアコンのスイッチは切っておいてください。

○課題による学習が頻繁にあります。問題をやったら必ず時間をかけて納得がいくまで復習すること。問題をたくさん解くと勉強をした気分になりますが、復習するという作業が無ければ時間の無駄です。一つの問題を間違えたら、その分野全般をくまなく復習すること。最初はものすごく時間がかかりますが、その積み重ねによって、成績は上がり、復習にかかる時間も短縮されていきます。最初の基礎工事が何より重要です。

○バランスよく学習しましょう。国公立を受験する人は各教科の点数バランスが重要です。好きな教科ばかり勉強して、嫌いな教科に手をつけないと合格が遠のきます。苦手教科こそ担当の先生に相談しながら真っ先に克服してください。計画的に学習すること。

○体調に気を使いながら学習しましょう。張り切って休憩も取らずに勉強していると逆効果です。休憩を適宜取りながら、1年間の長いマラソンのゴールが切れるようにペース配分しましょう。

コンサルタント家庭教育研究所

●目久美本部

〒683-0035 米子市目久美町90-13



<http://www.chukai.ne.jp/~consultant/>

☎0859-34-0340
